

コリア国際学園 広報誌

vol.16 2018.9

越境人

ekkyoujin



CONTENTS

KIS10周年 あいさつ

<特集1> 写真で見る コリア国際学園の10年の歩み
<特集2> KISの兄弟姉妹モノガタリ

CONTENTS vol.16

2 KIS10周年 あいさつ

金淳次 理事長 金正泰 校長 張夏奈 生徒会長

4 <特集1>

写真で見る コリア国際学園の10年の歩み

8 KIS10周年 お祝いメッセージ

茨木市議会議員 いなばみちのぶ様

茨木市立豊川小学校教員 白井亮吾様

茨木市立郡山小学校長 新海理丘様

豊川いのち・愛・ゆめセンター館長 和田吉博様

(公財)箕面市国際交流協会 事業課長 河合大輔様

在外同胞民族文化教育ネットワーク代表 チョン・スンチョン様

KIS Canada Study Tour Coordinator, 2016 Wendy Morris

Exchange Program Coordinator Fiji Anita Gounder

10 <特集2>

KISの兄弟姉妹モノガタリ

第4期卒業生 朴苑眞さん・第5期卒業生 朴苑善さん

朴弼用様・太田かおる様(朴苑眞・朴苑善 保護者)

第8期卒業生 朴彩実さん・高等部3年生 朴勇太さん

第8期卒業生 木村ふうかさん・中等部2年生 木村広太さん

14 Activity Report

第2回国際ユースカンファレンスに参加 / 境界に生きる人々の歴史と現状を学ぶ ~台湾編~

実力発揮の場、言語大会 / 学生会主催の遠足を実施

識字教室の講師として活躍する留学生たち / 國際協力エッセイコンテストで特別賞受賞

龍安寺参道商店街活性化のためのプロジェクト参加 / 中等部3年生、沖縄修学旅行



建学の精神

21世紀の国際社会は、グローバル化と情報化が加速する一方で、政治・経済・社会・文化のあらゆる面において、解決すべき人類共通の課題にも直面しています。とりわけ東アジアは、その集約的な地域のひとつとしてダイナミックな変化が予見される歴史的な転換期にあります。

こうした時代状況を未来に向けて切り拓いていくためには、なにより個性と多様性の尊重を基礎とした創造力の溢れる人間が求められています。言い換えれば、柔軟な発想と幅広いコミュニケーション能力を兼ね備え、問題解決能力に優れた人間の育成にほかなりません。

コリア国際学園（KIS）は、在日コリアンをはじめとする多様な文化的背景を持つ生徒たちが、自らのアイデンティティについて自由に考え学ぶことができ、かつ確かな学力と豊かな個性を持った創造的人間として複数の国家・境界をまたぎ活躍できる、いわば「越境人」の育成を目指します。

コリア国際学園（KIS）は、すべての教育活動を通じて相互の信頼と協同を深め、地域社会に根ざし、コリアにつながり、世界に開かれた国際学校として、世界と東アジアの持続可能な発展に貢献します。

教育理念

多文化共生

民族的アイデンティティと自尊感情を育むとともに、多文化共生社会の実現に向けた知識、技能、態度を身につけた人間を育成する。

人権と平和

人間の尊厳と民主主義を尊重し、世界平和を希求する普遍的価値を創造するとともに、地球的視野を持ち、持続可能な社会の構築に貢献できる人間を育成する。

自由と創造

真の自由を理解し、豊かな個性と多様性を基礎とした創造力の溢れる人間を育成する。



KIS 10周年 あいさつ

まだまだ10年でございます。

コリア国際学園のさらなる永続的発展を目指して、KIS教育を拡充させその広報宣伝を強化することによって、近い将来に生徒を倍増させることが一番の目標となります。



理事長 金淳次

今年2018年、私たちを取り巻く環境は大きく激動しています。

2月のピョンチャン冬季五輪から始まつた南北融和の雰囲気は、4月の南北首脳会談と板門店宣言を契機に民族統一と未来に対する熱い希望と勇気へと繋がりました。

そして6月シンガポールにおいて史上初めての朝米首脳会談が開催され、朝鮮半島における終戦と非核化、アジアと国際関係の画期的な発展の大チャンスが生まれております。

それから10年。コリア国際学園では「3言語」や「世界で活躍できる力」と言う言葉を少し不自然に感じるようになつきました。なぜなら学園内ではコリア語、英語、中国語、日本語が自然に飛び交い、生徒たちは韓国、カナダなどを訪れ、そこでできた友だちとコリア語、英語で話します。地理的・文化的境界を越えて、その地の歴史と文化に触れ、共生について体験的に考えます。卒業生たちは日本、韓国、アメリカ、イギリス、カナダ、中国、インド、マレーシア、フィリピンなど世界のあちこちで活躍しています。コリア国際学園の生徒たちにとって、すでに多言語は特別なことではなく、世界は自分たちが生きていくフィールドに過ぎないのです。

学園には日本人、在日コリアン、韓国人、中国人の生徒たちがいます。国籍、民族、文化はさらに多様です。言わば小さな多文化社会がです。出来上がっています。生徒たちはそのような環境の中で生じる様々

す。

このような歴史的転換の年に、コリア国際学園の開校10周年を感慨深く迎えています。

2008年コリア国際学園の開校は、長年に亘る在日子女教育問題に対する研究摸索を経たのち、21世紀の国際社会発展の流れに則して「境界をまたぐ越境人」の育成を目的に据えた新しい学校の誕生であります。

中高一貫で英語、日本語、コリア語の3言語による多文化共生、人権と平和、自由と創造という教育理念の実現に向けた一步がありました。

しかし学校運営における困難は一つや二つではなく、校舎建設や教育環境の確立など毎日毎日が茨のよう難題と向き合わなければならぬ日々でありました。

この10年間を顧みて私は何よりも、全てが一からという草創と未踏の中で自身の子女たちをKISに入学させてくださいました、卒業生との皆様に誠の謝意を表します。

歴代の理事はじめ多くの関係者の方々が困難な経済状況の中で、自身の企業運営で様々な犠牲を伴いながら惜しみないご協力とご支援をKISに回してくださいました。私は、

心からの敬意と感謝の意をもって、KISの発展に寄与されました全ての協力者、関係者、地域の皆様、後援会の幹事、会員の皆様に厚く御礼を申します。



生徒会長 張夏奈

問題に日々向き合いながら学んでいます。そのような学園生活の中で言語力、コミュニケーション力、論理的思考力の必要性を実感し、行動することの重要性を理解するようになります。

人類の歴史は、人には与えられた

状況に甘んじることなく、時には環

境に適応し、時には状況を打ち破る

力があることを教えてくれています。

私たち大人ができるることは未來

を担う子どもたちが、人が本来持つ

ている力を發揮できる環境を作ることだと思っていました。コリア国際学

園は生徒たちがしっかりと学び、深く丁寧に思考し、それを実践していく

ける環境を作ることに力を入れています。

科学技術の発展により第4次産業

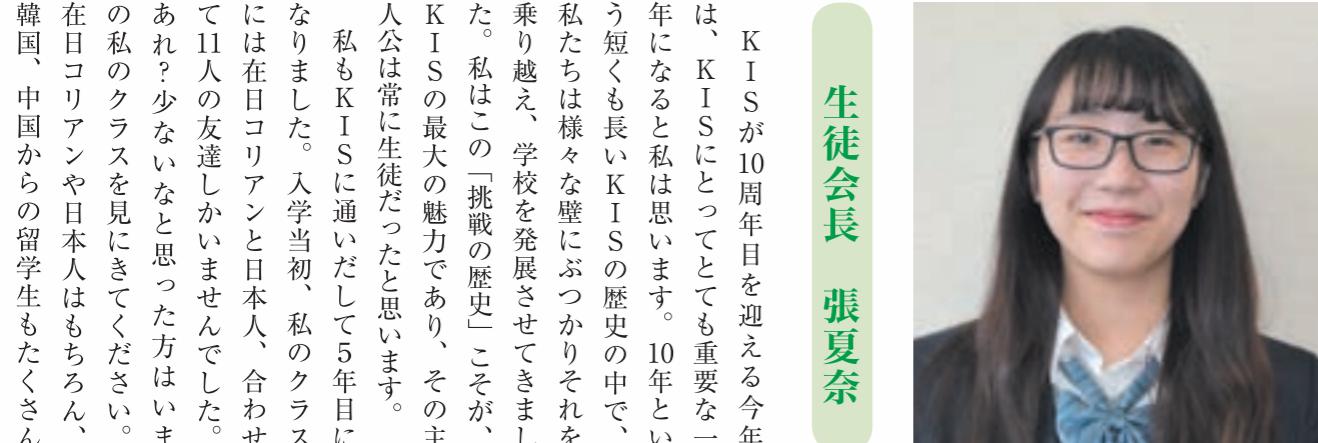
革命が叫ばれる中、国際情勢や経済構造はダイナミックに変化し、人々の生活にも大きな変化をもたらします。

そのような社会で我が身の幸せ

だけでなく、人類の繁栄と正義のため生きる優しさと思いやりを持つ

て欲しい。どのような状況であれ、冒險のように人生を切り開き、楽しめる力としなやかさを持つて欲しい。

コリア国際学園はこのような教育を目指します。



生徒会長 張夏奈

るを得なかつた在日コリアンの人生の教訓から、「3言語」と「世界で活躍できる力」を育成することを目標としたコリア国際学園が設立されました。

それから10年。コリア国際学園で

は「3言語」や「世界で活躍できる

力」と言う言葉を少し不自然に感

じるようになつきました。なぜな

ら学園内ではコリア語、英語、中国

語、日本語が自然に飛び交い、生徒

たちは韓国、カナダなどを訪れ、そ

こでできた友だちとコリア語、英語

で話します。地理的・文化的境界を

越えて、その地の歴史と文化に触れ、共生について体験的に考えます。卒業生たちは日本、韓国、アメリカ、イギリス、カナダ、中国、インド、マレーシア、フィリピンなど世界のあちこちで活躍しています。コリア国際学園の生徒たちにとって、すでに多言語は特別なことではなく、世界は自分たちが生きていくフィールドに過ぎないのです。

学園には日本人、在日コリアン、韓国人、中国人の生徒たちがいます。国籍、民族、文化はさらに多様です。言わば小さな多文化社会がです。出来上がっています。生徒たちはそのような環境の中で生じる様々

在学生の歴代保護者の皆様に心より深い感謝を申し上げます。KISで

自らのアイデンティティを見つめ、自主性と創造性を育み巣立つた80名を超える卒業生たちがアジアと英語の国々で活躍していることを誇らしく思います。

この10年間、KIS教育を体系化し前進させる上で、歴代の教職員の努力は大変なものでした。卒業生指導にあたつて来られた教職員の皆様に誠の謝意を表します。

私は、教育に対する情熱と使命感をもつて資質向上を図り日々の授業と生徒指導にあたつて来られた教職員の皆様に誠の謝意を表します。

この10年間を顧みて私は何よりも、全てが一からという草創と未踏の中で自身の子女たちをKISに入学させてくださいました、卒業生との皆様に厚く御礼を申します。



校長 金正泰

「越境人」の育成を建学の精神にかけたコリア国際学園が設立されたのは今から10年前、21世紀が始まつてまだ間もない頃です。20世紀の激動の歴史の中で国境を超えて生きざ

入ってきて、今では25人というKISで一番人数の多いクラスになります。私はこのクラスで沢山の刺激を受けて成長することができます。KISが目指す越境人に一步、また一步と確かに近づいていきます。私は、今でも私達はKISの教育理念である「多文化共生」「人権と平和」「自由と創造」をモットーに学校生活を送り、様々な分野で活動しています。例えば、全校生が参加する韓国・カナダ研修や修学旅行、様々なボランティア活動などです。私は、生徒の皆さんに他校では体験できないKISならではの教育活動に積極的に臨んでほしいと思っています。そして、10年目の節目を迎えるKISの伝統を確立させながら、さらに進化したKISをみんなで築いていきたいです。

私もKISに通いだして5年になりました。入学当初、私のクラスには在日コリアンと日本人、合わせて11人の友達しかいませんでした。

あれ? 少ないなと思つた方は、私のクラスを見にきてください。

在日コリアンや日本人はもちろん、韓国、中国からの留学生もたくさん

特集1 写真で見る コリア国際学園の 10年の歩み

「越境人の育成」を建学の精神に掲げたコリア国際学園が、開校して10年になります。

この10年間、コリア国際学園は在日本コリアンの民族教育から多様な文化的背景を重視する教育へ、言い換えるならば、画一的な価値観を追及する教育を否定し、個々のアイデンティティを尊重し、それらの共生を目指す教育を目指してきました。

しかし、それは平坦な道のりではありませんでした。学校が目指すべき方向の混乱や、財政基盤の不安定さなど、度重なる試練とのたたかいであつたと言えます。

そんな中、在校生や卒業生たちはたくましく学校生活を送り、巣立つ

てきました。卒業生たちは日本人・コリア・アメリカ・イギリス・中国・ロシア・カナダ・タイ・インド・マレーシアなど世界中で活躍するようになります。生徒数も少しずつ増え、日本人、在日コリアン、韓国人、中国人、アメリカ人など多様な生徒たちと多様な先生たちが、未来を夢見ながら楽しく学んでおります。

現在のコリア国際学園が在るのは、生徒や卒業生そして保護者のみなさま、地域のみなさま、教職員と理事や協力者のみなさま、また関心を寄せて下さる全てのみなさまのおかげだと確信しております。

KISが歩んできた10年を写真を通して振り返ってみたいと思います。



第一回目の入学式と アヒムナでの学校生活



▲サマースクール ▲竣工式

2008年8月31日、ついに校舎が出来上がり、本格的な学校生活が始まります。生徒たちはどんな思いで新しい校舎に足を踏み入れたでしょうか。ここからコリア国際学園の生徒たちは本格的にKIS色をもつて、様々なことに挑戦していきます。

ついに校舎が

沿革

- 2006年3月 コリア国際学園設立準備委員会が発足
- 2007年2月 大阪でのシンポジウムで建学の精神、教育理念を発表
- 2007年5月 大阪で設立発起人・賛同人の集い(約120名が参加)
- その後、各地で学校説明会、講演会を実施
- 2008年4月 第1回入学式(中等部10人、高等部16人が入学)
- 2008年8月 現校舎竣工
- 2011年2月 第1回卒業式(9人が卒業)
- 2011年3月 学校法人および各種学校の認可がおりる

- 2011年 4月 韓国からの留学生の受け入れを開始
- 2011年12月 高校無償化の対象となり、就学支援金の支給が開始される
- 2013年 9月 後援会設立総会(会長に作詞作曲家の中村泰士氏)
- 2015年 1月 国際バカロレア(IB)候補校となる
- 2017年 4月 体育科を設置
- 2017年10月 国際バカロレア(IB)認定校となる
- 2018年 1月 国際バカロレア(IB)教育の開始
- 2018年 5月 高体連準加盟



▲カナダ研修

▼文化祭

▼写生大会

▼全校生遠足



コリア国際学園は在日コリアンの教育に関心をもつ方が、新たな教育を目指して立ち上げた学校です。勉強会や公開授業を経て、現在に繋がるコリア国際学園像を作り上げました。

コリア国際学園のはじまり

さらなるKISへ

コリア国際学園は2011年度から韓国留学生を受け入れ始めました。最初の数年間は言語や文化的な違いによって、お互いの違いを理解し受け入れることができませんでした。しかし、今は韓国だけではなく中国、アメリカなど今まで生きてきた環境が全く違う生徒たちが集まつて、小さな多文化社会が作られました。生徒たちはこのような環境の中で様々な課題に向き合いながら言葉や心の壁を乗り越えていきます。多文化・多言語環境をさらに充実させるため、開校以来続いているカナダ研修や韓国研修をはじめとする様々な校外学習を企画しています。学びの場を広げることによって、学びの視野を広げる教育を目指しています。



▼球技大会



新入生
歓迎会宿▶

▼哲学カフェ



◀中3修学旅行－釜山・慶州

◀韓国研修
特別授業▶

◀3言語スピーチ大会

◀多民族フェスティバル

2012年4月、国連教育科学文化機関（ユネスコ）からユネスコスクールとして認定されました。ユネスコスクールとは人類の知的・精神的連帯の上に平和を築く、というユネスコ憲章の理念を実現するために、実験的な試みを行う学校の国際的なネットワークであるASPNet、およびそれに参加する学校です。KISでは日韓中国ワークショップに参加するなど、ユネスコスクールネットワークを活用して世界中の学校の生徒間教員間の交流を進めています。

KISでは2016年1月から、恒例行事となつた成人式



KIS後援会主催・保護者会のご協力で毎年卒業生の成人式が行われています。久しぶりに同級生、先生と再会し、思い出話に花を咲かせ笑顔が溢れる時間です。日本だけではなく、韓国やアメリカなど、世界の大學生に進学した卒業生が集まる良い機会になるとともに、在学生にとって未来の姿を思い描いてみるよい機会になるでしょう。



国際バカロレア認定校となる



2年間の国際バカロレアD.P.課程の導入を申請し、2015年1月に候補校になりました。その後、認定要件を満たすための準備を進め、2017年10月に国際バカロレア（I.B.）認定校となりました。2018年度高等部2年から国際バカロレア（I.B.）授業を開始しました。コリア国際学園では学園の特性を活かし、言語科目を3科目履修し、社会、理科、数学から1科目ずつ履修します。国際バカロレア（I.B.）の授業では全ての科目で幅広い知識と深い思考、判断力、表現力が求められ、多様な学習形態で学習活動が進められます。今年度は国際バカロレア（I.B.）の初年度なので、授業を担当する先生も生徒たちも試行錯誤しながら取り組んでいます。

2017年4月、長年韓国・日本でサッカーの指導をしてこられた姜英哲監督を中心として体育科が設置され、サッカー部が創部されました。主な

コリア国際学園は2014年10月に高等部2年・3年生を対象とする

コリア国際学園は2014年10月に高等部2年・3年生を対象とする

コリア国際学園(KIS) 開校10周年記念シンポジウム

境界をまたぐ教育とは?

~「越境人」という概念の教育的意義を考える~

第一部 14:00~15:00

- ▶開会・挨拶
- ▶講演:「若者パワーを未来にむけて」

講演者 参議院議員 山本太郎氏

第二部 15:30~17:00

- ▶卒業生・在学生によるパネルディスカッション
「境界をまたぐ教育とは?」

コーディネーター 金敬默 (Kim Kyungmook) 氏

ユネスコスクール認定校となる

